

# 議会だより

6月定例会 No.12  
平成20年8月1日

発行 石川県志賀町議会

し  
か  
*Shika*



公共下水道整備着々と	2
食品高騰で学校給食の現状は (一般質問)	6
議会三常任委員会視察報告	10
富来ますほ学童野球クラブ 県予選優勝 全国大会へ	12



七夕さまに願いをこめて (中甘田保育園)

## 公共下水道整備着々と

## 快適な住環境整備をめざして



楽しくグランドゴルフをする子供達。それも広場が快適に整備されているからです。この子らのためにも、快適な住環境整備は必要。子供の未来は我々大人にかかっています。  
(児童館グランドゴルフ大会)

6月定例会は、6月3日から13日まで11日間の会期で開かれました。  
町長から提案された19年度各会計の補正予算、規約の変更、条例の一部改正など専決処分報告14件、条例の一部改正、町道路線の認定、公共下水道事業管路工事の請負契約の締結6件などの10議案を審議し、すべて全会一致で可決しました。

## 条例改正

## 支度料を廃止

町職員等の旅費に関する条例中から、外国へ出張の際に支給される「支度料」を削除しました。  
経済発展やグローバル化の進展のなかで、海外旅行も一般化してきており、外国に出張するため特別な準備費用を措置する必要は乏しいと認め、廃止しました。

(全員賛成)

## 税条例

個人住民税に係る寄付金税制の改正（ふるさと納税制度）、公益法人制度改革への対応、固定資産税における住宅税制（省エネ住宅、長期耐用住宅に係る減額措置の創設）、公的年金からの特別徴収制度の導入を内容とした改正です。

（全員賛成）

## 国民健康保険税

後期高齢者医療制度の創設に伴い、課税限度額の変更および被扶養者に対する減額措置、低所得者減免の拡充などの見直しを行いました。（全員賛成）

## 請負契約

快適な住環境整備を促進

- ◆公共下水道管路工事
  - 中央75工区
    - 大島地内の1203メートルで下水管を布設
    - 松谷建設㈱
    - 契約金額4144万円
  - ◆中央76工区
    - 大島地内の1433メートルで下水管を布設
    - 池田建設工業㈱
    - 契約金額4088万円
  - ◆中央北部1工区
    - 川尻・神代地内の1075メートルで下水管を布設
    - 南建設㈱
    - 契約金額3938万円

- ◆中央北部2工区
    - 神代地内の894メートルで下水管を布設
    - 大和建設㈱
    - 契約金額7747万円
  - ◆富来24工区
    - 富来領家町地内の1239メートルで下水管を布設
    - 大和建設㈱
    - 契約金額4709万円
  - ◆富来25工区
    - 富来領家町地内の667メートルで下水管を布設
    - 寺井建設㈱
    - 契約金額6545万円
- （以上6件全員賛成）

## 町道認定

- ◆町道587号野畑線
    - 徳田、館開地内の延長290メートル
  - ◆町道588号的場線
    - 館開地内の延長220メートル
  - ◆町道855号広域農免連絡線
    - 宿女地内の延長140メートル
- （以上3件全員賛成）

### 19年度各会計別補正後の総額

一般会計	171億 596万円	
国民健康保険	29億 3,504万円	
老人保健	29億 4,220万円	
農業集落排水	20億 9,686万円	
公共下水道	10億 2,308万円	
地域し尿処理	8,412万円	
介護保険	23億 9,880万円	
ケーブルテレビ	22億 3,194万円	
町立診療所	1億 4,001万円	
簡易水道	8,100万円	
水道	収益的収支	6億 4,879万円
	資本的収支	6億 2,593万円
病院	収益的収支	14億 6,129万円
	資本的収支	1億 1,970万円

（金額は1万円未満切り捨て）

## 補正予算

平成19年度一般会計

# 1億8,245万円増額

19年度の各会計補正予算は、事業費の確定および精算等に伴うものであり、いずれも3月31日専決処分したものです。

一般会計では、地方交付税等の確定による増額分を財政調整基金や特別財政基金の積み立てに充て、歳入歳出それぞれ1億8245万円を増額補正し、総額171億596万円となりました。



建物が取り壊され、更地にして売り払う予定の旧堀松給食センター跡地（堀松地内）。

## 総務

委員長	越後 敏明
副委員長	松浦 恒義
委員	田中 正文
〃	寺岡真真子
〃	櫻井 俊一
〃	山本 辰榮

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。3月定例会開会中の主な審議内容等を報告します。

### 財産売り払い 今後の計画は

**問** 集中改革プランを見ると町有地の利用率が20数パーセントだったと思うが、財産売り払いの今後の計画は。

**答** できるだけ売れるものについては、競争入札

のかたちで処分していきたい。建物が付いている場合は、利用価値の無いものは取り壊し、更地にして処分したい。不要なものは早く処分をして、財政厳しい折り、積極的に対応したい。

**問** 志賀原発2号機分の41億円を自治振興基金、特別財政基金に積み立てる中で、特別財政基金にウエイトを置けばどうか。

**答** 特別財政基金にもいろいろあり、漁業振興基金もその中に入っている。その目的以内にはしか使えないということもあるので、区分けをどうするか考えながら進めたい。十分考慮に入れながら、積み立ててほしい。

### 介護保険 給付費減額の要因は

**問** 介護保険の給付費が少なくなった要因は。

**答** 介護認定を受けた方は、1年あるいは2年で再び審査会にかけるというようなことがある。その中で要介護の人が要支援、リハビリ等を通して、結果的に介護保険の給付から外れることがある。

また、保健師、看護師が予防、介護保険の給付を受ける対象者とならないように、町事業、そくさい会など力を入れていくことも要因かと思う。

**問** 旧小中学校管理費の中で、使われていない学校の電気料の契約変更はやっているか。

**答** 災害時の避難場所に使われるため、廃校前と同様に契約電力でお願いしている。

**望** 現状のままでは不自然であり、試算してもらったことも大事である。細かいところも足していけば、かなりの金額になる。

## 教育民生

委員長	橘 照茂
副委員長	戸坂忠寸計
委員	下池外巳造
〃	須磨 隆正
〃	林 一夫
〃	稲村 幸雄



高齢者が要介護状態等になることを予防し、地域で自立した日常生活を続けていけるように、そくさい会にも積極的に参加してほしい。（写真は風船パレーを楽しむそくさい会参加者）

委員長 富澤 軒康  
副委員長 南 政夫  
委員 小田 芳治  
// 辻 武美  
// 久木 拓栄  
// 木村 正男

## 産業建設

### 公共下水道事業債の減額理由は

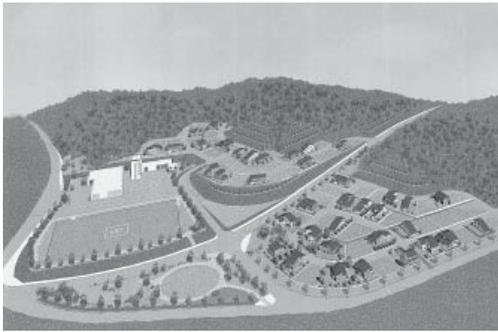
- 問** 公共下水道事業債は  
どうして8700万円も  
減額になったのか。
- 答** 昨年は入札の請負率  
が7割から7割5分  
であった。請負率が下  
ったことによる。
- 問** 農業委員報酬の減額  
は。
- 答** 4人の失職によるも  
のである。
- 問** 農業集落排水の指定  
業者新規登録料とは。毎  
年、更新するのか。
- 答** 指定業者の更新手  
料で5年に一度である。
- 問** 地域し尿処理の水質  
検査手数料の検査場所  
は。どうして追加とな  
ったのか。
- 答** し尿処理槽20基を  
検査している分の個人  
からの負担金である。



着々と整備が進められる公共下水道事業

### 定住促進住宅地造成工事に いよいよ着手

## 第2回臨時会 (7月22日)



定住促進住宅地完成イメージ

**定住促進住宅地造成事業 (造成工事)**

第2回臨時会では、工事請負契約の締結の議案2件が審議され、いずれも全会一致で可決しました。

1工区として開発区域面積10・3ヘクタールで分譲戸数55戸の区画、道路、水路、調整池等の造成を行う。寺井・林特定建設工事共同企業体と3億8245万円で請負契約を締結。



富来小学校体育館完成イメージ

**富来小学校体育館改築工事**

次代を担う子供たちに快適な教育環境を

体育館および渡り廊下を建て替えるもので、南建設㈱と2億475万円を請負契約を締結。

# 食品高騰で学校給食の現状は

## 献立、仕入れを創意工夫 学校教育課長



下池 外己造 議員

**下池** 現在、志賀町の給食の保護者負担は、月小生で4千円、中学生で4千7百円と聞いているが、食品の高騰による現状とどのような時に値上げ等を考えるのかを聞く。

**学校教育課長**

献立や仕入れを何とか創意工夫して、調味料、大豆加工食品等は年度初めに、乾物、冷凍食品、肉類は学期ごとに、くだもの、卵、鮮魚は2週間ごとに見積もり合わせをし、納入業者・価格を決定している。

厚生労働省が示す栄養目標量を堅持し、なおかつ、バランスのとれた料理の組み合わせを考え、提供している。

今後、食品等の単価が上昇するなら、町学校給食共同調理場運営委員会にはかつて検討するが、極力現状を維持したい。

今後、食品等の単価が上昇するなら、町学校給食共同調理場運営委員会にはかつて検討するが、極力現状を維持したい。

**下池** 地産地消と言われるようになったが、現在の町の学校給食で、どのような品目か、どのくらいの割合で使われているのか。

**学校教育課長**

平成22年度までに使用割合を30パーセント以上とすることを目指している。

当町の学校給食は平成19年度に、30パーセント以上の目標を既に達成している。

使用品目は地元農協から米を100パーセント、他にジャガイモ、サツマイモ、トマト、ナスなど13品目を現在使用している。鮮魚も地元産を取り入れている。

今後も、地場農産物の活用については積極的に取り組み、栄養バランスのとれた食事を提供していく。



地域に根ざした学校給食を通じた食育の推進が図られています。(写真は土田小学校の親子給食試食会)

# 当町の食育の取り組みは

## 教育活動全般で推進

### 教育長

**下池**

近年、児童・青年

その原因対策に食育を

関わらず「きれる」という言葉が異常ともいえるほど犯罪者だけでなく学校や職場まで広がっているように聞こえる。

考え、食育により、正しに行こうと始まったかのようになっているが、当町の学校での取り組みを聞く。

**教育長**

学校給食での指導を中心として、総合的な学習の時間や特別活動、各教科など学校の教育活動全般を通して、食育の推進に取り組んでいる。

具体的な取り組みは、

- 1 「早寝、早起き、朝ごはん」運動の継続。
- 2 給食日より、保健だよりによる広報、啓発活動。
- 3 学校栄養職員による食に関する巡回指導。
- 4 親子給食試食会、PTA活動での研修会、地域の方を交えた交流試食会の奨励。
- 5 総合的な学習時間等での共同調理場見学と家庭の授業での地元食材を使用した調理実習。
- 6 米作りや野菜づくり等の体験活動の推進等。

# 使用済み核燃料税 取り組みの現状と課税見通しは 具体的に検討し課税を目指したい 町長



橘 照茂 議員

**橘** 当町の税収は益々減収となるのが避けられない状況であり、思い切った行政改革とあわせ、少しでも増収に繋がることを多方面から模索することが必要である。

町独自で課税できるものとして、以前から質問している使用済み核燃料税の課税への取り組みの現状と今後の課税見通しを聞きたい。

**町長** 先頃、私を委員長とした法定外新税創設委員会およびワーキンググループを立ち上げた。

新税のメニュー、課税の可能性など具体的に検討したいと考えている。

原子力発電所との共生を基本に、新たな財政需要に対応するため、使用済み核燃料を視野に課税を目指したい。

今後は、総務省の同意要件のクリア、納税者の理解を得る努力が必要となる。

平成19年度から、地方交付税の不交付団体となり、課税を目指すには普通税を目指すのが、不交付団体の課税は非常に難しいという問題点もある。

これらの要件を一つひとつクリアすべく、業務の遂行に努力を重ねたい。

## 今後の広報活動の充実策は

## 様々な手法で情報を伝える 町長

**橘** 今まででは他の市町にはない優れた行政サービスを提供しても町民の実感が少なかったようにも思える。

ホームページの充実、町広報紙、ケーブルテレビ事業の充実など、行政の説明責任とあわせ、広報は町の魅力発信に大きく

な力を握っているが、今後の広報活動の充実策を聞きたい。

**町長** 昨年事業に着手したケーブルテレビ事業が、6月1日から本放送を開始し、従来の広報紙やホームページに加え、新たな町の広報媒体として増えた。

放送の中には、志賀町専用のチャンネルを1チャンネル設け、放送を開始している。

この「しかチャンネル」では、映像や音声による映像放送、文字で行政情報などを伝える文字放送、県内初となるデジタルでのデータ放送など、様々な手法で情報を伝える予定。

さらに、テレビ放送とホームページとの連動化を計画しており、リアルタイムでの情報発信、内容の一元化を図りたい。



6月1日から本放送を開始したケーブルテレビ事業。リアルタイムで町のさまざまな情報を伝えることができるようになる。写真はネットワーク放送センター

## 特定健診制度改正で負担集中 グループ制の導入を

### 集中改革プランに沿って検討 町長



寺岡 真貴子 議員

**寺岡** 制度改正に伴い、一つの課・一つの係に負担が集中していることはないか。グループ制の導入を急ぎ、職員配置が適正か確認・見直しすべきだ。

**町長** グループ制は、集中改革プランに沿って検討している。今後の業務の状況を見ながら必要に応じて、職員の配置や組織の改編などを検討していく。

**寺岡** 特定健診・がん検診・生活機能評価、それぞれ担当が分かれており問合せ先も別々だ。ワンストップサービスを徹底すべきだ。

**町長** 可能な業務はできるだけ集約を図る。各課の連携を強化するとともに、あらゆる機会をとらえて、住民に周知を図りたい。

**寺岡** 以前の基本健康診査と検査項目の違いはどこにあるのか。特定年齢時検診に実施していた検

査項目はどうなるのか。

**町長** 尿潜血検査と総コレステロールが廃止になり、悪玉コレステロール値検査が追加になった。昨年度まで、女性の32歳、男女の41、51、61歳時に、特定年齢児検診を実施していたが、今年度から廃止。今年度からは、新たに40、50、60歳時に歯科検診を予定しており、40歳および検診で肝機能要指導となった方には、肝炎ウイルス検査を実施する予定である。

**寺岡** 昨年までは、一日で済んでいた健診が、多い人で3日かかる上、全日程で受付が午前の2時間しかない。午後の受付を設けたり、女性がん検診も同一の予定に組み込むなど、来年度以降の仕組みづくりを考えるべきだ。女性がん検診はいつ頃から。

**町長** 今年度が特定健診の初年度であり、変更に伴い不便をかける点多々あるかと思う。

今年度の実施状況を踏まえて、できるだけ住民が健診を受けやすい環境づくりを努めたい。

女性がん検診は9～11月に、土日および夜間検診も実施する予定で個別に通知を発送する。

**寺岡** 4月からの専決処分で、国民健康保険税に後期高齢者支援金分が追加され増税された。22年度までに旧志賀・富来で賦課方式も統一しなければならぬ。国保税改定はいつ頃を予定しているのか。増税になるのか、今後の見通しを伺う。

**町長** 国保会計を取り巻く状況は厳しい。医療費の推移や後期高齢者医療の状況の状況を考えると、国保税率の見直し・増額のケースも考えられる。保険税率等の統合は、平成22年度からと考えている。

## 定住促進住宅整備事業奨励金制度 地区限定は見直すべきだ

### 全町対象は好ましくない

**寺岡** 奨励金制度を定住促進住宅地造成事業で開発された地域に限定すべきでない。

町内その他地域での宅

地売買の利益を損ねることにも繋がりがかねないし、中山間地や限界集落にも、定住を促すべきだ。宅地購入、住宅新築、中古住宅・空き家の購入・改修に対する助成金など多面的に取り組むべきだ。

**町長** この奨励金制度はまちづくり交付金事業の趣旨の中で、事業効果及び販売促進のために策定したものである。

全町エリアを対象にすることは現時点では好ましくないが、人口流出対策や地域コミュニティの在り方については大変心配であり、重要課題だと認識をしている。別の角度から捉えながら対応していきたい。



この子らが大きくなったときに住みたい、住んで良かったと思う町づくりのために、検討すべき課題は沢山あります。(写真は児童館じゃがいも掘り)

# 地域活性化・企業誘致対策の参考に

## 海上の物流拠点金沢港を視察

羽咋郡町議会議長会議  
員研修会が7月17日開催  
され、今年は国土交通省

金沢港湾・空港整備事務  
所へ金沢港大野地区の多  
目的国際ターミナル整備  
事業の取組みについて、  
また、国際的な建設機械  
メーカーのコマツ金沢工  
場を視察しました。



多目的国際ターミナルの整備状況を視察する議員ら。

### 金沢港 多目的国際 ターミナル整備事業

金沢港大野地区で、平  
成18年から効率的な物流  
（輸送コストの削減等）  
による地域産業の国際競  
争力強化等を支援するた  
め、大型船舶に対応した  
多目的国際ターミナルの  
整備に着手しました。

現在、水深13メートル  
の大水深岸壁の整備が進  
められており、今年10月  
には水深12メートルでの  
暫定供用が予定されてい  
ます。

### コマツ金沢工場

金沢工場の生産品目は、  
大型プレス機械の主要コ  
ンポーネント（スライド、  
ベッド）で、板金・機械  
加工・組立の一貫生産工  
場となっています。

金沢港の大水深岸壁の  
整備により、暫定供用さ  
れれば、金沢工場から直  
接世界各地へ製品を輸出  
できるようになります。



コマツ金沢工場の事業内容の説明を受ける  
両町議員。

## 親しまれる 議会広報をめざして



7月15日、県町議会広  
報研修会が金沢市内で開  
催され、講演と技術指導、  
議会広報のクリニックを  
受けました。

当町の議会だより11号  
については、概ね高い評  
価をいただきましたが、  
さらに編集技術の向上を  
目指し、町民の皆さんに  
親しまれる議会広報を  
作っていきたいと思いま  
す。

### 議員の一言コーナー

#### 朝顔の成長と子供達

毎朝、自宅の庭に出て  
朝顔の美しい花を見るこ  
とが最近の一日の始まり  
となっている。

伸びた茎に添え棒を  
し、雑草を除去する作業  
も結構楽しい。年齢を重  
ねた自分にとって、成長  
していく朝顔を見るの  
は、子供達が成長する姿  
とどぶり夢を託している

ようでもある。

朝顔のように日に日に  
実感できるものではない  
が、子供達の成長も想像  
以上に早いものである。

無限の可能性を持つ子  
供達の大事な成長時期  
に、良い環境、教育など  
最大限の引き出しを与え  
てあげることが、私達の  
責務であると思う。

私達の時代には無かつ  
た海外留学や海外派遣・  
国際交流事業など、志賀  
町の子供達には、国内だ  
けでなく、より多くの  
人々と交流をし、多くの  
国に足を運び、よりたく  
さんの視野を広げ、その  
可能性の芽をすくすくと  
伸ばしてほしいと思う。  
そして立派な国際人に  
なって貢献してほしい。

（山本 辰栄）

# 議会三常任委員会合同視察

## 友好都市訪問と カナダの原子力の現状を視察

議会では、平成20年度各常任委員会の研修事業として、6月22日から29日にかけて、カナダ国内で視察研修を行いましたので、その内容を報告します。



コールウッド市の議場で、カナダの議会運営、市の施策を研修。  
写真左はデエイブ副市長。

当町は平成11年にコールウッド市およびスーク教育委員会と友好提携の調印を行っている。  
コールウッド市およびスーク教育委員会管轄地には、町青少年海外派遣事業で中高生を毎年派遣しており、今回、表敬訪問を兼ねて、生徒達の受入状況を確認するとともに、カナダの教育制度、

地方自治、定住促進対策、観光施策をテーマに視察を行ってきた。  
今回の私達の訪問には、コールウッド市およびスーク教育委員会の関係者の方々に大変お世話になった。  
今後さらにお互いの交流が活発になり、友好の輪が広がるよう議会として望むものである。

### 友好提携を結ぶ コールウッド市を表敬訪問

コールウッド市はブリティッシュ・コロンビア州の州都ビクトリアのベックタウンで、人口約1万4千人。自然と先住民文化を大切にし、観光に力を入れているまちである。  
議会議員は6人であり、任期は3年である。選挙権・被選挙権は18歳から。議員の年間報酬は200万円、全員兼業である。議会は夜開かれて、市民も自由に参加でき、自由に発言できる。  
公用車は無く、消防署も4人が市職員であるとはボランティアである。  
市内には、工場はひとつもなく、住民の多くは観光業に携わっている。以前は林業が盛んであったが、環境保護の観点から仕事も少なくなり、新しい産業の誘致を考えている。  
また、視察の中に、民間が開発を進めている造



宅地造成地内のモデルハウスを視察する議員ら。

成地を見学させていただいた。  
当日は造成地内にあるモデルハウスを視察したが、コンドミニアム方式で580ユニットを販売する予定である。価格は4千万から6千万円の価格帯が最も多かった。  
コールウッドの町並みもそうだが、観光地らしく環境に配慮し、緑地帯を多くとっている。  
市では定住者の増による税金を見込んでいるとのことであった。

### ジョーンスタット ブスメモリアル スクール



明るく開放的な図書室。

今年1月に24億円をかけて完成したばかりの新しい小中一貫校である。  
現在は第1〜7学年の生徒415人が学んでいるが、将来は第9学年までの850人規模になるとの説明があった。  
カナダでは、日本の文部科学省のように国レベルで教育を管轄する機関はなく、教育の管理・運営にかかわることはすべて州政府の教育省が行う。そのため、州によって教育制度が異なる。

当日は選択科目で日本文化をフランス語で教えている授業を見学し、児童らのかわいい歓迎を受けた。



児童から視察者全員に友と書いた紙が贈られた。

## ベルモント高校

当町の中高生が派遣事業で英語学習、歴史等カナダの文化をこの学校で学ぶ。

学生数は1500人で6月26日から夏休みに入るということで、学期末試験が行われている最中であった。

校舎内を案内してもらい、日本の工業高校と技術専門学校を合わせたようなイメージを受けた。カナダの公立学校は、高校まで無料で教育が受けられるため、この学校では美容師の資格を取るための授業も無料で受けられる。

## カナダの原子力の現状を視察 カナダ原子力公社



ベルモント高校長から説明を受ける。

私達がカナダに研修に訪れたもう一つの目的は、カナダ原子力公社を視察して、カナダの原子力を取り巻く現状を調査し、当町の施策の参考とするためである。

カナダは世界第5位の電力生産国であり、電力輸出国としては世界第2位である。うち発電量の12パーセントが原子力である。

原子力の分野では、カナダ原子力公社が開発したCANDU炉が有名

で、カナダ、韓国、アルゼンチン、ルーマニア及び中国で運転・建設中である。

カナダ原子力公社は、カナダ連邦政府所有の公社で、世界中でCANDU原子力発電所の設計、マーケティング、建設・監理を行っている。

日本の日立とは協力関係にあり、日立はタービン発電機、デジタルプラント制御技術などを供給している。

議員からは、カナダにおける原子力の供給率の見直し、住民の理解への取り組みや地域への支援・補助、定期検査の方針、災害の際の関係機関との連携など多くの質問が出された。

説明のあと、SP3と呼ばれる部品の開発や検査のための施設を見学したが、説明を受けた会議室内も含め、情報の漏えい防止のため、写真をとることは許可されなかった。

その後、トロントの東に位置するピカリングまで移動し、ピカリング原子力発電所の情報センターを視察した。



ピカリング原子力発電所情報センター前で。日本のPRセンターのようなものだが住民からの苦情等はこちらで受ける。

第19回志賀町「富来を描く美術展」 **テレビ金沢賞**の作者に聞く!



作品名「茜さす風無」



米田 外美 さん  
(七尾市)

素朴な風無港の突端に昔も今も凜と舟の航路を守る灯台に茜さす風景に感動して描きました。予期せぬ受賞に喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。今後はこの賞に恥じぬよう一層精進していきたいと思えます。

芸術文化の振興を願い、志賀町の美しい自然や生活、産業や夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。昨年11月には第19回の審査が行われ、次の方、北國新聞社賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。

全日本学童軟式野球大会石川県予選で  
**富来ますほ学童野球クラブ**  
2年ぶり2度目の **優勝**



トピックス

8月9日から行われる  
全国大会(茨城県)  
に出場します。



主将 村中 健哉 君

優勝して、志賀町に優勝旗を持って帰ってこられるよう頑張ります。

議会広報特別委員会

発行責任者	議長	委員	副委員長
林 一夫	橋 照茂	田中 正文	越後 敏明
		富澤 軒康	櫻井 俊一
		戸坂 忠寸	計



議会傍聴は、議会だよりでは伝えきれない議会の様子を見聞できます。傍聴の際は、議会事務局で住所・氏名などを記入します。団体で希望される場合は事務局までご連絡ください。

**傍聴に  
おこしください**